

オーケストラの

ファビオ・ルイーギ 指揮

ロイヤル・コンセルトヘボウ 管弦楽団



©Simon Van Boxtel

ウェーバー: 歌劇「オベロン」序曲

リスト: ピアノ協奏曲 第2番 イ長調

チャイコフスキー: 交響曲 第5番 ホ短調 op.64

イエフム・ブロンフマン ピアノ

真髓がここに



©Dario Acosta

2023. **11/4** (土) 14:00開演 (13:15開場) 愛知県芸術劇場コンサートホール
S¥41,000 A¥35,000 B¥28,000 C¥24,000 D¥18,000 E¥12,000 学生(抽選) ¥3,000 (税込)

学生券
26歳以下学生証提示

中京テレビクリエイションHPよりエントリー後抽選。詳しくは<https://cte.jp/gakusei/>をご覧ください。
[一般席と並んでご購入されたい場合]公演1ヶ月前に残席がある場合に限り、並びご予約いただけます。
詳しくは中京テレビクリエイションまでお問い合わせください。

18歳以下
無料ご招待

(文化庁 劇場・音楽堂等の子供鑑賞体験支援事業)
対象:小学生以上18歳以下(公演時点)
詳しくは<https://cte.jp/41cf/>の公演ページをご覧ください。

プレイガイド [6/2(金) 11:00~一般発売]

Chuチケット: 052-308-8282 (平日11:00~17:00) <https://cte.jp/41cf/>
チケットぴあ: <https://t.pia.jp/> (Pコード: 240-448) 芸文プレイガイド: 052-972-0430



公演に関するお問い合わせ 中京テレビクリエイション ☎052-588-4477 (平日11:00~17:00)

※出演者・曲目等変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。※未就学児のご入場はご同伴の場合でもお断りいたします。

主催: CHUKYO TV

協賛: からみそラーマン
ふくらみ

ウィーン交響楽団やメトロポリタン歌劇場の首席指揮者などを歴任、

22年からはNHK交響楽団の首席指揮者に就任するなど、次々と輝かしい活躍を続けるファビオ・ルイーダ。

今年、名古屋でロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団の指揮者として聴けるとは!

プログラムは、揺るぎないテクニックと卓越した抒情性で知られる名手ブロンフマンとの協奏曲と、

不滅の名曲チャイコフスキー交響曲第5番。

互いに相手にとって不足なし、世界で三本の指に入る伝統のオーケストラと

旬の名指揮者という組み合わせ!



イエフィム・ブロンフマン (ピアノ)

Yefim Bronfman, Piano

©Frank Stewart

旧ソ連のタシケントで音楽家の両親のもとに生まれ、1973年にイスラエルに移住。その2年後に17歳でメータ指揮モントリオール響と共演してデビューを果たした。その後アメリカでR.ゼルクンやフライシャーに学んだのち、素晴らしくクリアな音色と技巧をもってソロや協奏曲、室内楽で幅広く活躍。世界のほとんどの超一流オーケストラ、指揮者らと共演し、主要音楽都市では定期的に演奏するなど、現代きっての名ピアニストである。サラネン指揮ロサンゼルス・フィルとのバルトークの協奏曲集の録音でグラミー賞を獲得したほか、国際的な受賞も多い。

ファビオ・ルイーダ (指揮)

Fabio Luisi, conductor

©Morten Abrahamsen

ジェノヴァ出身で、イタリア的な明確な造型力とドイツ的な堅固で思索的な感覚を併せ持つ、現代を代表する指揮者の一人。ドレスデン国立歌劇場の音楽総監督、ニューヨークのメトロポリタン歌劇場(MET)の首席指揮者、ライプツィヒ放送響の芸術監督、スイス・ロマンド管の音楽監督などを歴任してきた。

現在はダラス響とチューリヒ歌劇場の音楽監督、そして2022年9月からはN響の首席指揮者を務める。コンサートヘボウ管、ロンドン響、ミラノ・スカラ座フィル、ミュンヘン・フィル、クリーヴランド管、フィラデルフィア管、サイトウ・キネン・オーケストラなどに客演し、ザルツブルク音楽祭でもオペラを指揮。ウィーン交響楽団の元首席指揮者として、ブルックナーに捧げるゴールドメダルおよびゴールドリングの栄誉に輝いている。録音も多く、シュターツカペレ・ドレスデンとのR.シュトラウスの交響詩や、METでの《ジークフリート》《神々の黄昏》は数々の国際的な賞を受賞している。

ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団 Royal Concertgebouw Orchestra

1888年創立。楽団が創立100年を迎えた際に正式に「ロイヤル(王立)」の称号を与えられた。オランダのマキシマ女王がパトロンを務める。

世界最高のオーケストラの一つで、弦楽器は「ピロードのよう」、金管は「黄金」、木管の「際立った個性」、それらが融合合う唯一無二、類稀な響きは長きにわたって称えられてきた。25カ国から集まった120人以上の奏者で構成され、大所帯とは思えぬ室内オーケストラのような親密さで音楽を奏でている。

マーラー、R.シュトラウス、ストラヴィンスキーらも指揮をし、これまでの首席指揮者はケス、メンゲルベルク、ベイヌム、ハイティンク、シャイー、ヤンソンス、ガッティの7人で、2027年シーズンからはマケラが就任予定。またJ.アダムズ、G.ベンジャミンら現代の作曲家たちとも密な関係を築いている。また、世界的に著名な客演指揮者やアーティストたちとのコラボレーションによって、類稀な響きとしなやかな演奏スタイルを実現。例えばアーノンクールは、特に18世紀のレパートリーでオーケストラの名声を高めることに大きく貢献し、I.フィッシャーは、2021/22年シーズンから名誉客演指揮者を務め、演出家のP.アウディは、クリエイティブ・パートナーとして協力している。

膨大な数の録音は国際的な賞も多数。2004年には自主レーベル「RCO Live」を立ち上げた。ほかにもMezzo.tv、Medici.tvなどと共同で、動画、コンサート配信、ラジオやテレビの定期放送を行うなど、その活動範囲を広げている。



ふくろう

からみそラーメン

一心一意